



橘小学校ホームページのQRコードです。

# 「輝け！橘っ子」通信

学校教育目標「ともに生きる力としなやかに伸びる力をもち、たくましく夢を追求する児童の育成」  
めざす学校「笑顔・あいさつ・思いやりがあふれる楽しい学校」

阿南市立橘小学校  
学校だより No.8  
令和6年6月10日  
校長 上原 小代子



3年生の子どもたちが育ててきたアゲハチョウの幼虫が1週間あまりのさなぎの期間を経て、成虫になりました。登校後、虫かごの中にきれいなアゲハチョウを見つけた子どもたちは大興奮。放課後を待って、ベランダから空に放してあげました。翌日には、さらに2匹のアゲハチョウや2匹のモンシロチョウが羽化しており、子どもたちは連日、命の不思議やたくましさに触れることができました。一方、4年生はプール横の花壇にフジバカマを植えました。秋の開花時期に「渡り蝶」のアサギマダラがやってきてほしいな。」と願い、毎日フジバカマに水やりをしています。チョウはなぜ、幼虫・さなぎ・成虫と変化するのか、アサギマダラはなぜ1000kmを超える距離を移動するのか、3日(月)の全校朝会ではそんなことを子どもたちに問いかけてみました。すぐに答えはかえってきませんでしたが、生き物たちが命をずっとつないでいくために、環境に生態を適応させていることに思いを巡らせ、生き物や自然を大切にしたい気持ちをもってほしいと願うばかりです。



アゲハチョウを空に放す3年生。

## 盲導犬ユーザーの鶴野さんと盲導犬ティアをお迎えしました！

6月3日(月)3校時、盲導犬「ティア」号のユーザーである鶴野さんをお迎えして、盲導犬や視覚障害者の方の暮らしなどについて、お話を伺いました。鶴野さんは小学5年生のときに半明した病気がきっかけで徐々に視力を失われたそうで、現在3頭目の盲導犬ティアと一緒に生活されています。大変活動的な方で、「盲導犬や視覚障害者についての理解を深めてほしい」とこれまでも多くの学校を訪問されています。

鶴野さんは、ティアくんのハーネスを外して子どもたちとの触れ合いタイムをとってくださり、盲導犬をはじめとする補助犬の役割、ユーザーとの生活の様子などについてお話くださいました。また、盲導犬とユーザーが街を歩くときに困らないための五つのお願いを子どもたちに伝えられました。さらに、盲導犬に関するクイズの中で、ハーネスをつけて仕事中の盲導犬の名前を呼んではいけないこと、盲導犬にユーザーさん以外の方が食べ物あげてはいけないことなども教えてくださいました。

互いを信頼し合って、明るく元気に生活されている鶴野さんとティアくんに出会うことができ、子どもたちも元気でエネルギーをもらいました。盲導犬ユーザーの方や白杖を持っている方はもちろん、困っている人を見つけたら「何かお困りですか?」「お手伝いしましょうか?」といえる橘っ子になってほしいと願います。



子どもたちを迎える鶴野さんとティア。



ティアくんとのおふれあいタイム。



盲導犬について話される鶴野さん。



ティアはずっと静かにしていました。

## 体操検定を実施しました！

5月20日から放課後練習を始めた器械運動の練習ですが、今年度から基本的に4・5・6年生は全員参加としたところ、体調が悪かったり用事があったりする場合を除いて、多くの子どもが練習に参加できました。跳び箱・マット・鉄棒の運動は、体育の授業でも取り組みますが、期間を決めて集中的に練習することで技能の向上が期待できます。以前は、市内全小学校から子どもたちがスポーツ総合センターに集まり、体操検定会を実施していましたが、現在は各校で検定会を実施しています。6月6日(木)・7日(金)の検定には多くの子どもが挑戦しました。合格した者、不合格となった者、それぞれですが、努力し続けた自分、挑戦した自分に自信をもって、これからも体力作りに励んでほしいと思います。お疲れさまでした。



マット運動の側転に挑戦



跳び箱の開脚跳びに挑戦



鉄棒の足かけ回りに挑戦

## PTA 資源物資回収 お世話になりました！

6月9日(日)、雨がぱらつく中、PTA 役員の皆様や多くの保護者の皆様にご参加いただき、資源物資回収を実施することができました。地域のお店や食品会社さんなどにも協力していただき、たくさんの物資を回収することができました。回収にまわっていただいた役員の皆様、積み込みをしてくださった保護者の皆様、本当にありがとうございました。



資源物資回収の様子